

公開版

日本ジャグリング協会 平成30年度第12回理事会 議題

- 日時 2019年9月23日 20:00～21:56
- 場所 google ハングアウト
- 出席
 - 理事 本郷、浦和、小野嶋、中村、西野、松村、米屋
 - 監事 松岡
- 欠席
 - 井出

【稟議確認】

本会議までに以下の内容についてメール審議を行った。

- 1) 決勝、予選審査委員リスト承認(8月20日承認)
- 2) 花田充(はなだまこと)氏をJJF2020 実行委員長とする(指名はJJF2019まで非公開)(8月29日承認)
- 3) JJF2019 GS 舞台監督補の追加を承認(9月10日承認)

【議題】

- 1) 前回の議事録承認

軽微な修正の元承認した

- 2) 理事会細則の修正(西野)

以下の通り承認した。

第11回理事会で決定した、理事会の交代時期を明記した。また、退任時の手続きとして、名簿、予算等の守秘義務事項について、手元のデータは削除等するよう明記した。

追加項目

理事会細則

5. 理事会の交代

前期理事の任期は役員改選の総会の日までとする。ただし、JJFにおいて役員改選の総会が開催される場合、前期理事会の任期を「総会のあった JJF 終了日まで」とする。

10. 理事会関係者の退任に係る情報流出管理

退任が決まった理事会関係者はその守秘義務と情報流出対策のため、自身の管理する計算機およびネットワーク上から、その立場上得られた情報について削除等の流出管理を行う。

(2019年9月23日 改定)

伴って、5番以降の項番を順次修正した。

3) JJF長期運営委員会規定（西野）

JJF長期運営委員会の規定を承認した。

抜粋

（目的）

第1条

JJF長期運営委員会（以下 本委員会とする）は、定款第5条による大会事業とし、Japan Juggling Festival(以下 JJFとする)の円滑な開催運営のため、次年度以降の計画立案と準備、および当該年度の運営補助を行うことを目的とする。

（委員会の構成）

第2条

本委員会は、JJFを担当する理事の指名にもとづき、理事会の承認をうけた委員により構成する。

（活動）

第11条

委員会は目的遂行のため、以下の活動を行う

- 1 次年度以降のJJFの会場の調査および選定を行い理事会に推薦する。
- 2 次年度以降のJJFの実行委員長を理事会に推薦する。
- 3 次年度以降のJJFの開催に関する事務調整を行う。ただし、会場予約ほか、各種契約については理事会が行う。
- 4 その他次年度以降のJJFの開催に関する活動を行う。

4) JJF運営規定（西野）（JJF2020実行委員会の承認と関係）

理事会との業務範囲についての区分を明瞭にするよう修正のため再度検討することとした。

本規定が成立すれば、実行委員長を委嘱することで、実行委員会が立ち上がったこととなる。なおJJF2020はすでに実行委員長を承認済みである。

（抜粋）

（組織）

第2条

理事会は、各年度のJJF実行委員長を任命し、当該JJF予定日の遅くとも13ヶ月前までに理事長名で委嘱する。

第2章 JJF 実行委員会

（組織）

第3条

各年度のJJF実行委員長（以下 実行委員長）は、JJF実行委員会（以下 実行委員会）の円滑な運営のために実行委員を選任する。実行委員は実行委員長が委嘱する。

（任務）

第4条

実行委員会は、理事会および協会各組織と連携し、JJFの適切な運営を任務とする。実行委員会の任務は以下のとおりとする。

- (1) JJF イベントの企画立案、実施
- (2) CS審査委員会への協力および CS 客席会場の運営
- (3) 協会編集部への協力および取材環境の提供
- (4) JJF の広報
- (5) JJF の予算案の立案
- (6) JJF の決算の作成
- (7) JJF の報告書の作成
- (8) 理事会から求められた事項
- (9) その他 当該JJFの実行に関わること

ただし、契約および予算の変更に関わる事項については理事会が行う。

5) JJFチケット販売の結果と来年度の予測プラン（西野）

以下のように理事会予測を決定した。

JJF2018では、CSと本体を分離し、まとめ買いをなくし、CS/GSの価格を上げ、CSを2期販売とした。

結果として、昨年ほどの争奪戦が発生せず、最終的にはCSが少し残して販売終了した。

また、積極的なJJFへの集客宣伝は行わなかった。

全日参加パス	534
CS観覧券	661
CSPV	35
GS	588

来年度の福井は、関西に近く関東から遠い。福井に近い関西圏からの参加者は、今年度も十分あって、地方の福井開催となってもあまり今年と変化がないと思われる。一方、関東の参加者からは遠方となるため、来年は見合わせる可能性が高い。他地方からの影響は軽微であるとする、総合して減少が見込まれ、理事会として以下のように予測する。

本体	300
CS	350
GS	300

これを、JJF2020実行委員会での予算検討基本情報とする。

5) 日本ジャグリング協会情報公開および管理の方針に関する決議（西野）

以下のとおり承認した。

協会運営における情報管理負担の軽減のため、可能な限り公開を原則とする。

運営情報公開方針に関する声明

特定非営利活動法人日本ジャグリング協会は、公明正大な運営を旨として、対外的に必要なとされる情報管理を除き、可能な限りの情報を公開し運営することを目指します。

(公開から除外する情報の例 対外的契約に係る事項、個人情報に係る事項、等)

6) 来期運営に関する意向調整

各理事の来期運営の意向に関する意見交換を行った。

7) web上の歴代理事の年度表記について (西野)

XX期での表記とすることとした。

例) 「第xx期 (20xx~20xx年度)」

以上

【報告事項】

1) CS来賓について (西野)

助成金をいただいたリコーfreewill様から3名がCS観覧に来訪予定。

2) JJF関係者宿泊について報告があった。

3) JJF長期運営委員会報告 (井出)

井出理事欠席のため以下の読み上げを行なった。

- JJF Future Project(JJFFP)について

- ゴール

- 今後のJJFを更によくする為のアイデア、情報、人脈を作る

- アイディア:JJFでやりたいイベントなど

- 情報:JJFの会場候補など

- 人脈:JJF実行委員会をやってみたい人、会場候補地について詳しい人など

- 目的

- JJFの会場候補地などJJFに関する潜在的な情報を収集する

- JJFがジャグリング界でどのような役割になるべきなのかも探る

- 参加者の意見を集める

- 概要

- JJF2019期間中に開催

- インタビューと本部にてアンケート記入のどちらかを選択

- インタビュー

- 当日2人1組でジャグラーにヒアリング、結果をスプレッドシートにまとめる
- 本部
 - [アンケート](#)を回答してもらう
 - ヒアリング、アンケートの結果は井出が集計、SWJまたはJJAのHPにて結果を公開
 - 公開する質問はアンケートにて(公開)と出ているもの
- 目標数値
 - アンケート:

3) 審査状況 (フレディ)

合計15組 (男子9組、女子3組、チーム3組) で確定。

4) JJF2020 福井の準備状況について (井出)

井出理事欠席のため割愛

次回理事会 緊急の場合に招集する